TOSHIBA

東芝換気扇（ダクト用）
取付説明書

形名 **DVL-14KX4** 照明器具取付用

●この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
●この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意…… 1～2
取付上のお願い…… 2
製品寸法…… 3
付属品…… 3
取付図…… 3
取付方法…… 4
1. 天井板を貼る前のとき …… 4～7
2. 天井板を貼った後のとき ……7

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
またこの取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

表示の説明

⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊ 1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊ 3）の発生が想定される内容”を示します。

＊ 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊ 2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。

改造禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理（※）をしない

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

交流 100V を使う

交流 100V 以外の電源を使うと火災や感電の原因になります。

交流 100V 使用

内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。

取付禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイラヤス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

取付注意

煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口をつける

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。

給気を確実に

アースは確実に取り付ける

故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。

アースを接続する

⚠注意

本体は強度のある場所に確実に取り付ける

落下による、けがの原因になります。

確実に取り付ける

取付、お手入れの際は必ず手袋を着用する

手袋を着用しないとけがの原因になります。

手袋着用

部品は確実に取り付ける

落下による、けがの原因になります。

確実に取り付ける

電気工事は必ず電気工事店に依頼する
電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する

火災の原因になります。

取付注意

浴室内には壁スイッチを取り付けない

火災・感電の原因になります。

取付禁止

炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない

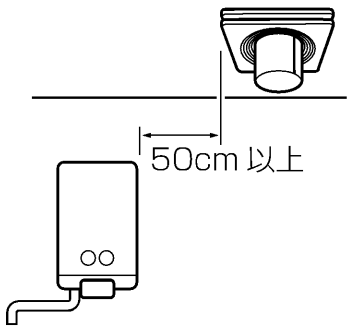
火災の原因になります。

取付禁止

取付上のお願い

●次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
   ①ガスレンジの真上
   ②ガス湯沸器の真上（横方向へ 50cm 以上離してください。）
   ③換気機能のない浴室・乾燥機を使用する浴室
2. 台所など油煙の多い場所
3. 腐蝕性ガスの発生する場所

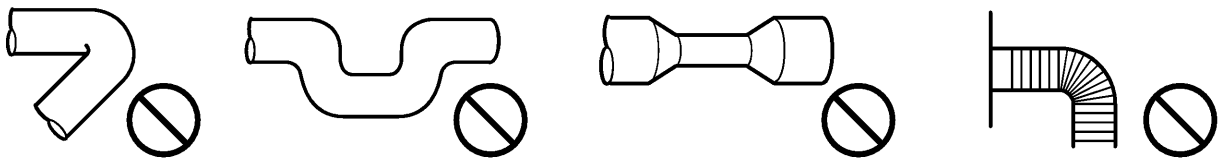


●点検口を必ず設けてください。

●この換気扇にはスイッチは付属しておりませんので、工事の際準備してください。

●次のようなダクト工事はしないでください。

（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）接続ダクト径を極端に小さくする　（4）排気口のすぐ近くでの曲げ

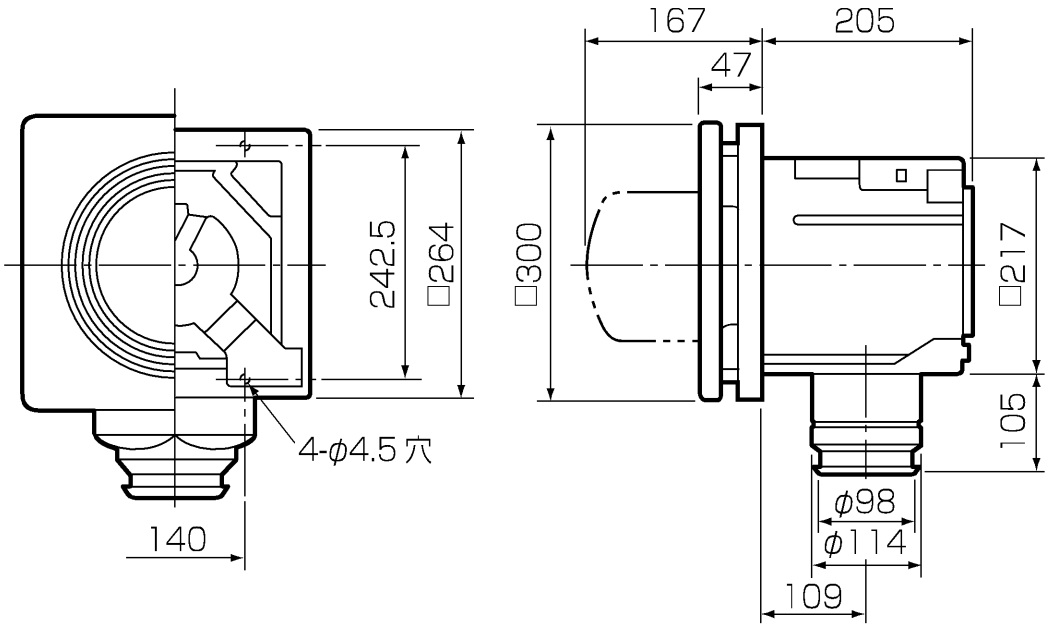


●ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
排気口が割れたり、シャッターが開かなくなるおそれがあります。

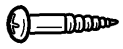
●地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

●効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

製品寸法



付属品

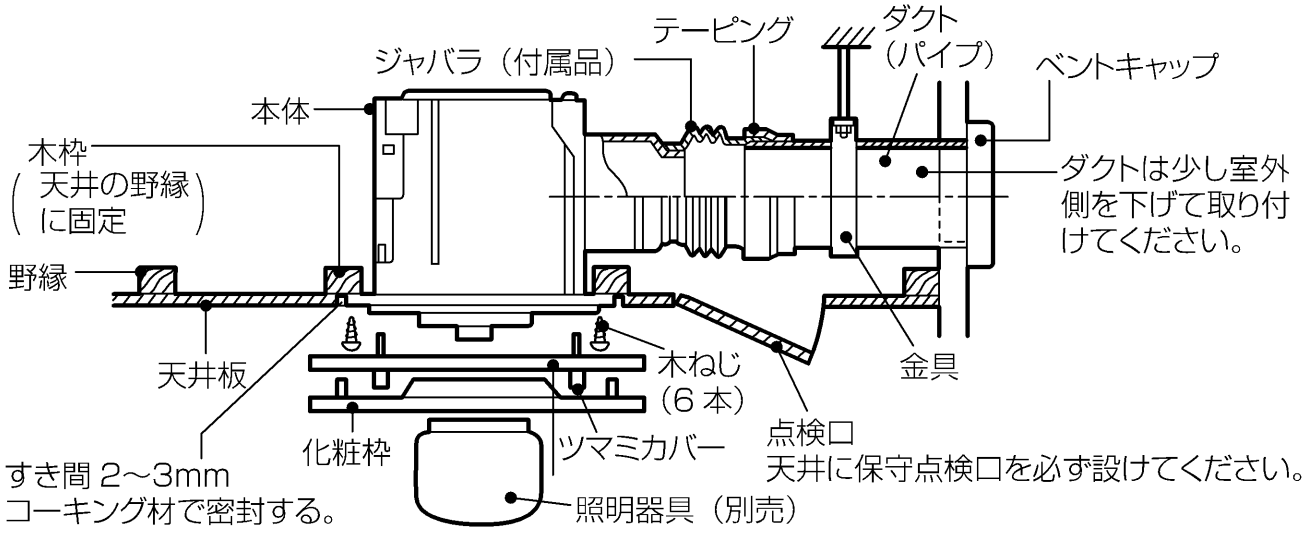
木ねじ	小ねじ
	
6 本	2 本
ジャバラ	
1 個	

別売部品をご利用ください

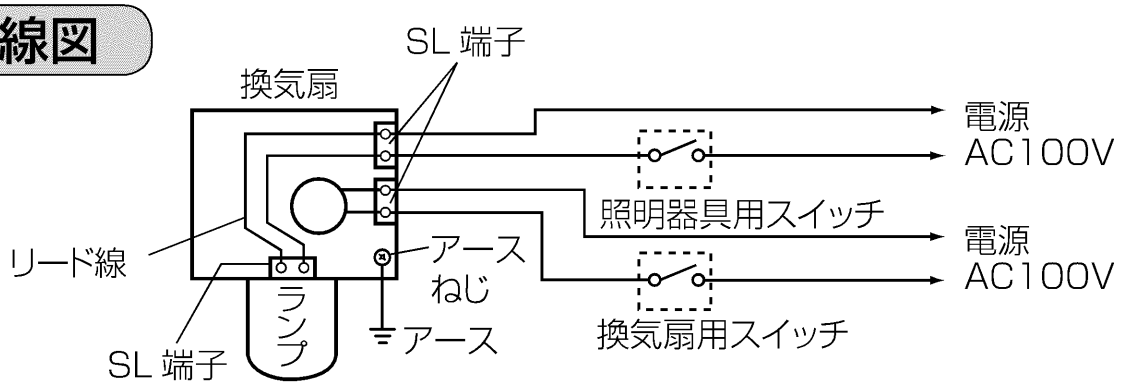
（詳しくはカタログをご覧ください。）

ベントキャップ	パイプ用フード	防火ダンパー
共同ダクトを使用しないでダクトを直接外へ出す場合に使用します。風雨の侵入を防ぎます。	中高層住宅などのダクト配管用パイプの先端に取り付け、風雨の侵入を防ぎます。	火災が発生したとき排気口から他への延焼を防止するために使用します。

取付図



配線図



取付方法

取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

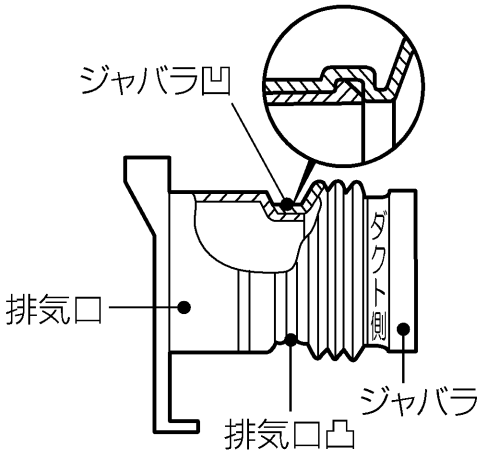
取り付ける前に

この換気扇にはジャバラが付属されていますので、取り付け前につぎの準備をしてください。

塩ビダクト（VU100、VP100）、スパイラルダクトにこのジャバラを使用しますと取り付けに便利です。

＜ジャバラ（付属品）の取付方法＞

排気口先端の凸とジャバラの凹を確実にはめ合わせてください。



1. 天井板を貼る前のとき

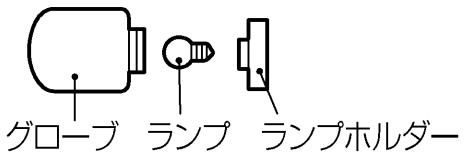
木枠に取り付けるとき

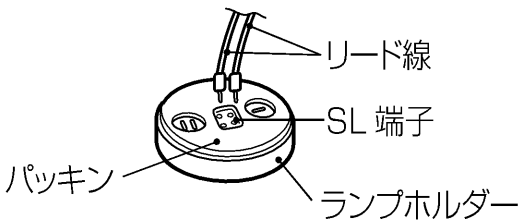
A-1 照明器具を梱包より取り出し、本体に取り付けます。

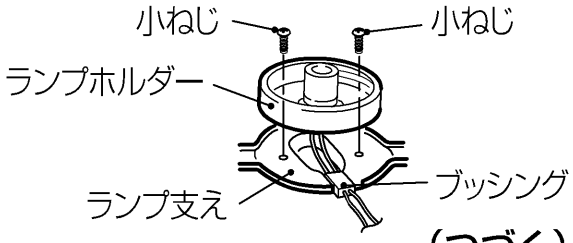
①別売部品の照明器具をグローブ、ランプ、ランプホルダーに分解します。（照明器具に付属の木ねじは使用しません。）

②ランプ支えに取り付けられているリード線をランプホルダー裏側の SL 端子に差し込みます。（照明器具に付属のチューブは使用しません。）

③ランプホルダーを付属の小ねじ（2 本）にてランプ支えに固定します。ランプホルダーはランプ支えの中央になるように取り付けてください。ブッシングがランプ支えの溝に確実に取り付けられていることを確認してください。

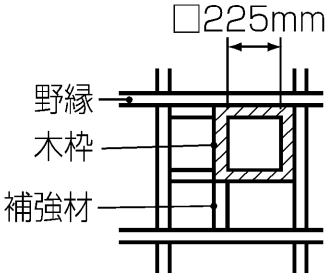






（つづく）

A-2 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。



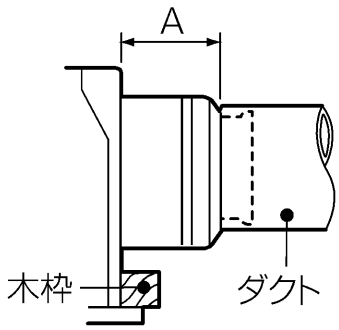
お願い
- ●製品質量（2.9kg）に十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定してください。

A-3 取付位置・排気方向を決めダクトを取り付けます。

ダクトの先端は下表のA寸法に合わせてください。

A寸法　（単位:mm）

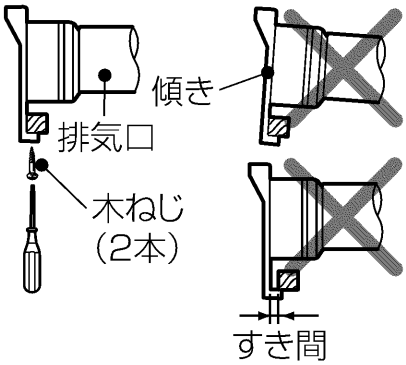
	ダクト(呼び径φ100)			
	VU	VP	スパイラル	フレキシブル
付属のジャバラを使用しない時	80	80	80	80
付属のジャバラを使用する時	165	165	150	ー



A-4 排気口とダクトをはめ込み木枠に固定します。

排気口（またはジャバラ）とダクトを接続し、木枠のかどにすき間が生じないように付属の木ねじ（2本）で固定します。内側の穴（2ヵ所）を使用します。

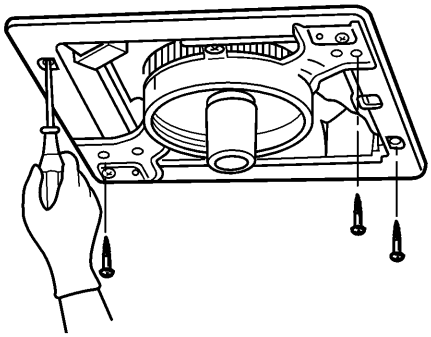
お願い
- ●排気口が傾いていますと本体が取り付けられません。



A-5 本体を木枠に固定します。

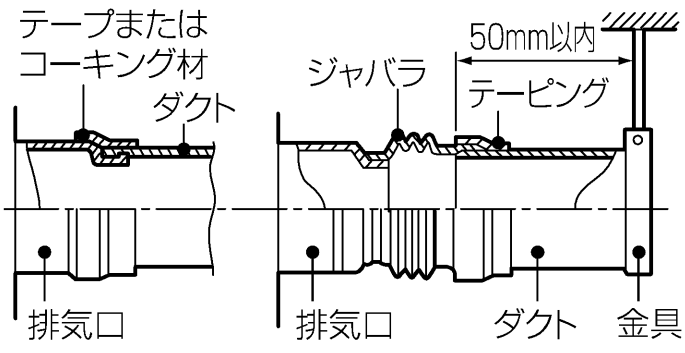
本体を木枠にはめ込み、付属の木ねじ（4本）で本体を固定します。

お願い
- ●本体の固定は、排気口に密着させてください。風もれの原因になります。
- ●本体付属の木ねじを使用して、必ず木枠に木ねじがかかる様、確実に固定してください。



A-6 排気口とダクトの接続部をテープまたはコーキング材で密封します。

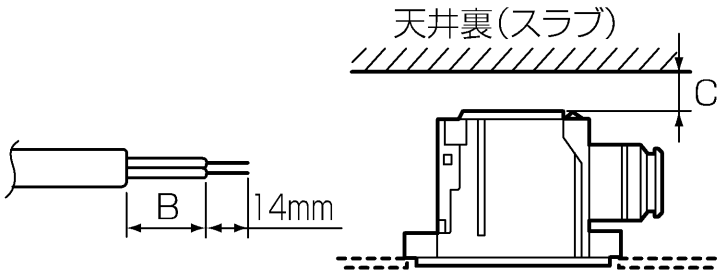
排気口（またはジャバラ）とダクトの接続部分をしっかりと差し込んで、風もれ、水もれのないようにテープまたはコーキング材で密封します。ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。排気口が割れることがあります。



お願い
- ●ダクトは若干室外側を下げて取り付けてください。
- ●付属のジャバラを使用するときはジャバラにダクトの質量が加わらないよう、接続部付近（50cm以内）を金具で吊ってください。

A-7 電気コードとアース線を接続します。

お願い
- ●配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工事店に依頼してください。
- ●スイッチは必ず活線側に取り付けてください。

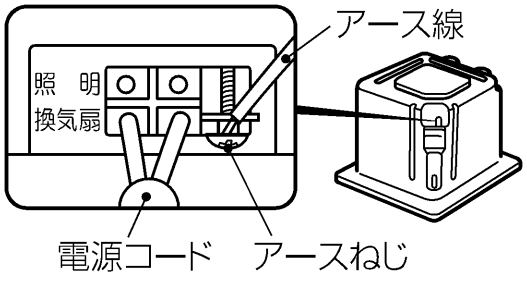


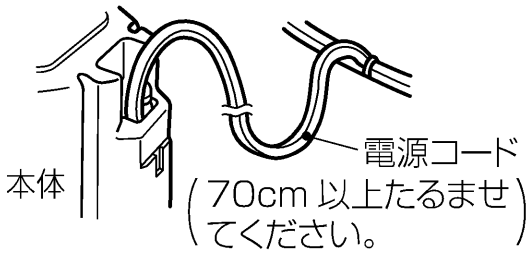
換気扇用電源コード・アース線の接続

①換気扇用の SL 端子に電源コード（VVF ケーブルφ 1.6 ～φ 2）の芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。
- ●電源被ふくは 14mm むいてください。
- ●電源コード外被の皮むき寸法（B 寸法）は次のようにしてください。

C 寸法　50mm 未満のとき　B ＝ 250mm
　　50mm 以上のとき　B ＝ 35mm

②アースねじに 1.25 平方ミリ以上のアース線を取り付けます。
③電源コードおよびアース線は本体付近で 70cm 以上たるませてください。



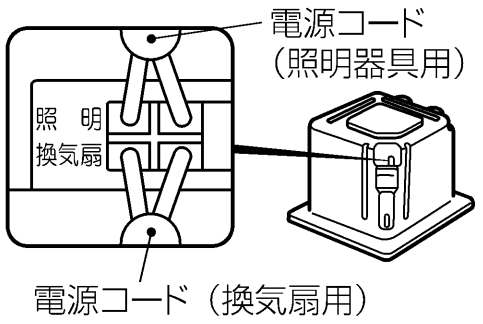


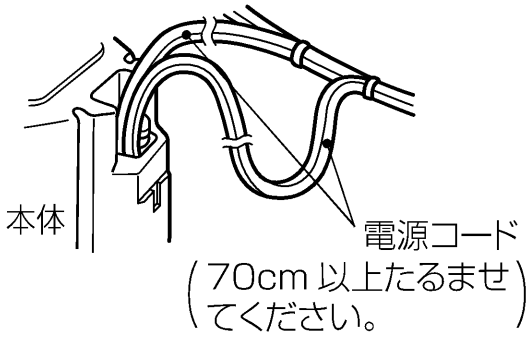
照明器具用電源コードの接続

①照明器具用の SL 端子に電源コード（VVF ケーブルφ 1.6 ～φ 2）の芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。
- ●電源被ふくは 14mm むいてください。
- ●電源コード外被の皮むき寸法（B 寸法）は次のようにしてください。

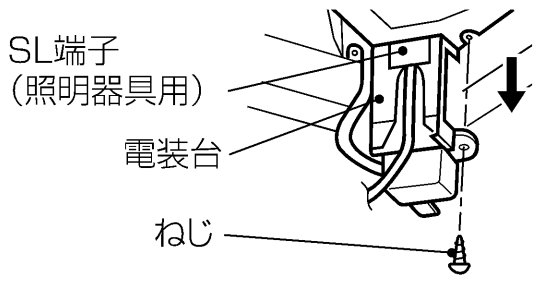
C 寸法　50mm 未満のとき　B ＝ 250mm
　　50mm 以上のとき　B ＝ 35mm

②電源コードは本体付近で 70cm 以上たるませてください。





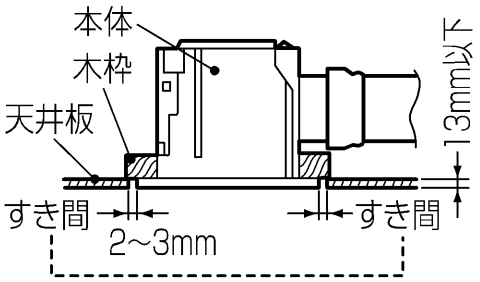
接続の確認やメンテナンスの時に、電装台は本体内部より取りはずすことができます。
- **● 電装台のねじ（1 本）をはずし、本体から電装台をはずします。**
- **● 照明器具用電源コード線をはずすときは電装台を本体内部より取りはずし、照明器具用の SL 端子で行います。**



（つづく）

A-8 天井板を貼り付けます。

お願い
- この製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジ部とは必ず 2 ～ 3mm のすき間をあけてください。
- 天井板は厚さ 13 mm 以下のものをご使用ください。それ以上ですと化粧枠の取り付けができません。
- すき間は全周コーキング材で密封してください。

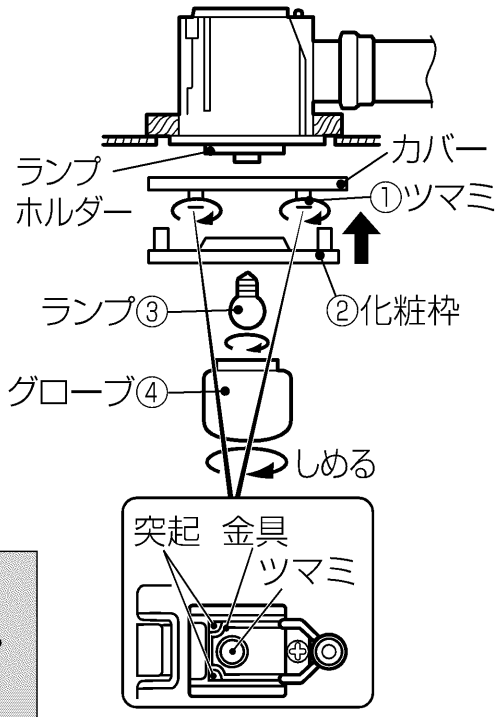


コーキング材で密封してください。

A-9 カバー、化粧枠、ランプ、グローブを取り付けます。

①ツマミを締め付け、カバーを取り付けます。

お願い
- ツマミはペンチなどの工具で締め付けないでください。
- 金具とカバーの突起がほぼ同じ高さになったらツマミの締め付けをやめてください。



②カバーに化粧枠を取り付けます。
③ランプホルダーにランプを取り付けます。
④ランプホルダーにグローブを取り付けます。

以上で取り付け完了です。
次の点検を行い、異常がないか確認してください。
- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 化粧枠が確実に取り付いていること。

2. 天井板を貼った後のとき

B-1 照明器具を梱包より取り出し本体に取り付けます。
詳しくは A-1 を参照してください。

B-2 排気口を固定します。
詳しくは A-3、A-4 を参照してください。

B-3 排気口とダクトの接続部をテープまたはコーキング材で密封します。
詳しくは A-6 を参照してください。

B-4 電源コードとアース線を接続します。
詳しくは A-7 を参照してください。

B-5 本体を木枠に固定します。
詳しくは A-5 を参照してください。

B-6 カバー、化粧枠、ランプ、グローブを取り付けます。
詳しくは A-9 を参照してください。

東芝キヤリア株式会社